こちら議会広報部

2006
第7号

発　行／周防大島町議会
〒742-2192
周防大島町大字小松126-2
TEL：0820-74-1003(議会事務局)
編　集／議会広報編集特別委員会
印　刷／(有)日良居タイムス

今回の主な内容

●９月定例会 ……1～5P
●一 般 質 問 ……6～8P
●委員会報告 ……8～9P
●研修報告他 ……10P

大島斎場完成予想図（H.19.2.完成予定）

９月定例会

一般会計補正予算（歳入歳出それぞれ）8,348万１千円を追加し総額162億287万１千円とする。

平成18年第３回定例会（９月定例会）が９月８日から22日までの15日間の日程で開かれました。

一般質問は、５名が登壇し、学校統合問題を含む９つの大項目について質問を致しました。

議案については、人事案件１件、決算認定13件（３常任委員会において所管部分を付託審査）、一般会計、特別会計の補正予算、都合12件と条例の一部改正４件、一部事務組合の解散に伴う協議等の案件11件、一部事務組合の設立、規約変更など２件、指定管理者の指定案件３件、工事請負契約１件、その他３件（計50件）を審議し、全件を可決致しました。

また継続審査中の請願、陳情各１件については、引き続き継続審査とすることとし閉会致しました。

9月定例会 平成17年度 決算を認定

９月22日、本会議において、３委員長報告を受けて、一般会計・各特別会

一般会計	歳　入	170億8,446万円	
	歳　出	167億3,697万6千円	
	（翌年度に繰り越すべき財源２億1,194万１千円）		
	実質収支額	1億3,554万3千円の黒字	

※財政分析指数

財政力指数（単年度）	17.3%	公債費負担比率	23.5%
実質収支比率	1.5%	実質公債費比率	20.3%（３ヶ年平均）
		（特別会計を含む）	20.5%（単年度）

特別会計合計	歳　入	142億1,698万7千円
	歳　出	134億　600万7千円

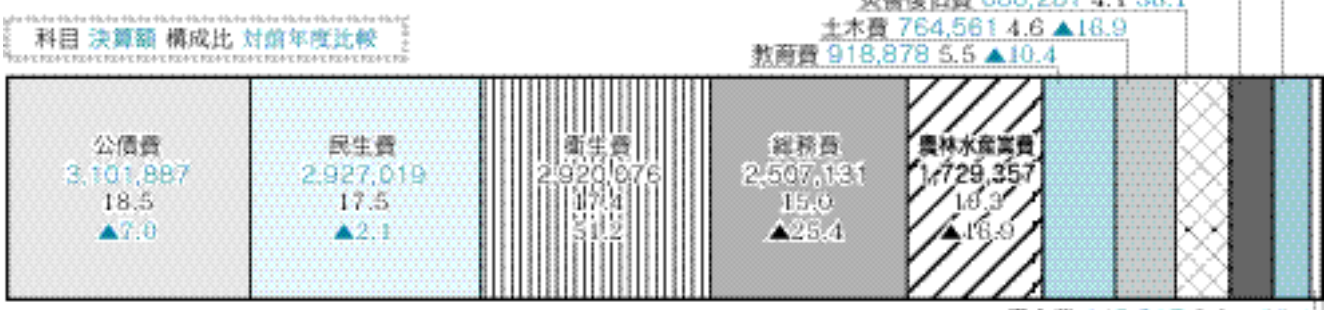
歳入の状況（普通会計・一部事務組合を含む純計）

（単位：千円　%）

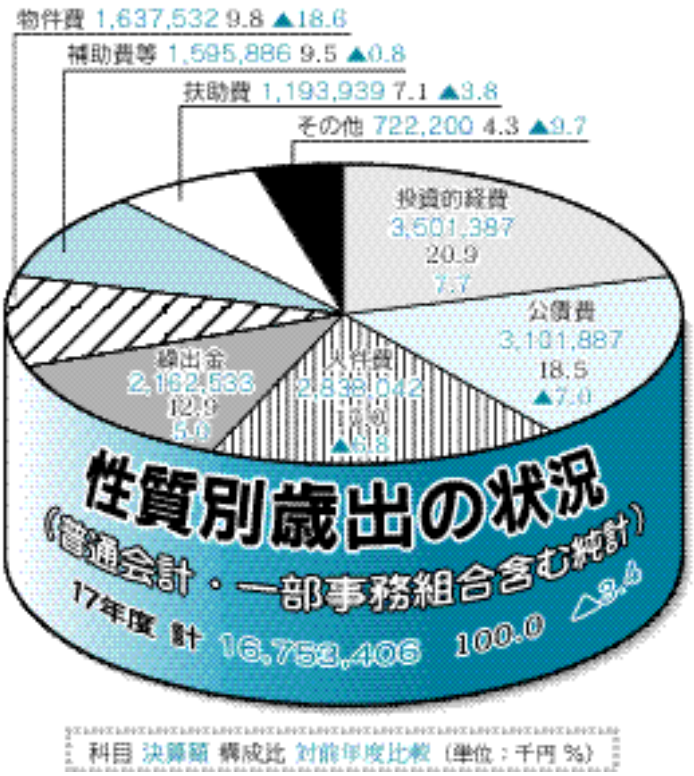
17年度歳入合計 17,105,810 100.0 ▲3.7

歳出の状況（普通会計・一部事務組合を含む純計）

（単位：千円　%）



17年度歳出合計 16,753,406 100.0 ▲3.4



科目 決算額 構成比 対前年度比較 (単位：千円 %)

各基金の増減

(単位：千円)

	H17.5末現在高	増減高	H18.5末現在高	備考
財政調整基金	647,170	475,832	1,123,002	
減債基金	396,775	▲154,675	242,100	
県収入証紙購入基金	3,000	0	3,000	
東和庁舎及び文化交流施設建設基金	414,583	▲414,583	0	
奨学資金貸付基金	42,102	101	42,203	
福祉振興基金	326,882	46	326,928	
国民健康保険基金	101,246	▲49,985	51,261	
介護給付費準備基金	92,094	8,595	100,689	
ふるさと創生基金	166,810	▲99,976	66,834	
土地開発基金				
(土地)	15,295	0	15,295	448.84㎡
(現金)	84,720	12	84,732	
合計	100,015	12	100,027	448.84㎡
中山間ふるさと水と土保全基金	31,131	0	31,131	
斎場建設基金	44,346	▲44,346	0	

平成17年度　特別会計決算状況

歳入歳出の状況

(単位：千円)

会計名	歳入				歳出				収支差引残額		
	17年度決算額 (A)	16年度決算額 (B)	増減額 (A)−(B) (C)	増減率 (C)/(B)×100 (%)	17年度決算額 (a)	16年度決算額 (b)	増減額 (a)−(b) (c)	増減率 (c)/(b)×100 (%)	17年度決算額 (A)−(a) (イ)	16年度決算額 (B)−(b) (ロ)	増減額 (イ)−(ロ)
国保	3,133,778	2,999,462	134,316	4.5	3,099,898	2,896,564	203,334	7.0	33,880	102,898	▲69,018
老人保健	5,152,970	5,083,047	69,923	1.4	5,137,157	5,024,098	113,059	2.3	15,813	58,949	▲43,136
介護保険	2,711,870	2,592,276	119,594	4.6	2,644,651	2,528,054	116,597	4.6	67,219	64,222	2,997
訪問看護	27,733	25,139	2,594	10.3	27,733	25,139	2,594	10.3	0	0	0
簡易水道	1,043,554	951,814	91,740	9.6	1,043,554	949,014	94,540	10.0	0	2,800	▲2,800
公共下水道	551,626	506,829	44,797	8.8	526,748	500,753	25,995	5.2	24,878	6,076	18,802
農業集落排水	1,462,987	1,107,199	355,788	32.1	1,444,416	1,087,859	356,557	32.8	18,571	19,340	▲769
漁業集落排水	42,027	51,589	▲9,562	▲18.5	42,027	51,589	▲9,562	▲18.5	0	0	0
渡船	80,414	77,706	2,708	3.5	80,414	77,706	2,708	3.5	0	0	0
交通災害	10,028	10,946	▲918	▲8.4	9,018	9,963	▲945	▲9.5	1,010	983	27
計	14,216,987	13,406,007	810,980	6.0	14,055,616	13,150,739	904,877	6.9	161,371	255,268	▲93,897

平成17年度　公営企業局　事業概況

総収入は、43億4,310万6,267円（前年度比90.6%）、総費用は、42億2,006万3,704円（前年度比95.2%）で、収支差引で、１億2,304万2,653円（前年度比34.4%）の利益を生じている。

建設改良については、橘病院に防潮板新設工事、防風堤改修工事を、さざなみ苑に30床増床工事（平成17～18年の２ヶ年工事）を行い、また医療機器は電算機等を購入した。

▲増床したさざなみ苑

各施設業務の概況表

	病床数	病床利用率(%)	外来数(1日平均・人)	総収益（千円）	総費用（千円）	入所利用率(%)	定　員(人)	学生数(人)
東和病院	131	88.3	218	15億7,220万７	15億9,456万４			
橘　病　院	36	96	152	６億6,915万６	６億4,305万７			
大島病院	99	84.6	134	10億8,960万５	10億732万			
やすらぎ苑				２億2,305万２	２億2,727万２	98.5	50	
さざなみ苑				２億2,010万７	２億3,540万８	97.1	50	
看護学校				２億4,404万２	２億1,360万８		105	116

監査委員よりの決算審査の結果・総評

代表監査委員
末満良勇

【審査の結果】

審査に付された一般会計、特別会計の歳入歳出決算書などは、いずれも法令に準拠して作成されており、決算計数は正確であり、執行は概ね適正なものと認められた。

【決算総評】

平成17年度決算状況の財政分析指標（経常収支比率99.6%、公債費比率18.6%、起債制限比率15.7%）を見ると、公債費比率は前年度対比では、低くなったものの、県内町村平均に比べ依然高い数値となっている。これらの数値で分かるように、義務的経費（人件費、扶助費、公債費）が多く、また自主財源の乏しい本町では、国庫補助金及び地方交付税の見直しによる三位一体の改革の影響が、財政構造の硬直化の要因となっており、非常に厳しい財政状況となっている。

合併して１年と数ケ月経過し、このような状況に対処するために、歳入面においては、自主財源の町税、使用料の徴収率の向上は元より滞納整理体制の強化を図り、各種収入未済金の削減等、収入の確保に全力で取り組むとともに、町債の発行は極力抑え、借入金の依存度の引き下げに努められたい。

一方歳出面では、経常的な経費の節減、各種団体への補助金や委託料の見直し及び施設の統合等事業の総合的な運用活動を考慮する。また、増加傾向にある特別会計への繰出金についても、赤字補填的な繰出しを続けることは今後において困難な事態が生じることとなるので、経営努力及び業務内容の見直しも必要と考える。

当年度に策定した総合計画の基本構想に掲げている「元気・にこにこ・安心で21世紀にはばたく先進の島」の実現に向け、行政改革大綱、集中改革プラン、財政健全化計画に沿って、最小の軽費で最大の効果が得られるよう不断の努力を望むものであります。

その他の議案

1. 本年 11月26日で任期満了となる中原徹也教育委員の再任を同意した。

2. 補正予算 10件を可決。補正内容は下表のとおり。

	補正予算額	補正後の総額
一般会計	① 7,728万２千円	161億9,667万２千円
〃	② 619万９千円	162億287万２千円
国民健康保険	３億8,539万５千円	36億1,608万９千円
介護保険事業	6,657万１千円	27億9,572万円
訪問看護事業	10万円	2,695万５千円
簡易水道事業	945万９千円	10億9,447万５千円
下水道事業	① 639万６千円	４億8,158万３千円
〃	② 142万６千円	４億8,300万９千円
農業集落排水	（財源組替）０円	５億3,555万７千円
漁業集落排水	72万円	4,875万円
渡船事業特別会計	55万千１円	8,552万６千円
交通災害共済事業	４万千２円	983万８千円

3. その他 23議案を可決

周防大島町公営企業局事業剰余金１億2,304万2,563円を翌年度へ繰り越す件、町職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例、報酬及び費用弁償条例、周防大島町生きがい活動支援通所施設の設置及び管理運営に関する条例、並びに周防大島町国民健康保険条例の計４条例の一部改正、山口県内の県単位の一部事務組合等の解散・統合及び新たな複合的一部事務組合の設置に関する12議案、柳井地区消防組合規約の変更１件、指定管理者の指名３件、及び埋立等による新たな土地の確認及び字の区域変更各１件、合計22議案を可決した。また、工事請負契約の締結１件（詳細は後述）を可決した。

指名競争入札による工事請負契約の締結

・事業名「小松屋代簡易水道配水管新設工事」
・落札者　ユタカ工業株式会社
・契約額　7,147万350円（消費税額を含む）（落札率82.00%）

なお、この度の指名競争入札は２社が同一額であったため、当該２社によるくじ引きにより最終決定をみた。

一般質問

田村三郎 議員

目ざせ全体訓練！活かせ観光ソース！

問 防災の日及びその近日に、本町ではどの様な訓練をしたのか。

答（町長）９月１日に、久賀小・中学校のグランドで、消防防災ヘリコプター「きらら」による救助訓練や、ゆさゆさ号による地震体験等を行った。又消防団東和支部23分団中、18分団が９月１日に自主的に消防訓練を実施した。９月３日には、自主防災組織「家房自治会」が、大地震を想定して訓練をした。消防団久賀支部も９月17日実施。その他の地区でも訓練等を予定している。

問 久賀小、中学校の訓練は県が中心となって実施したのでは。町もタッチしたのか。

答（総務課長）県が中心となって実施したが、町も関係機関で協力して行った。

問 南海、東南海地震の防災対策推進地域に指定されている本町としては、町を挙げ実施すべきでは。

答（総務課長）考慮して行きます。

問 本町には源平ロマン、幕末ロマン等の数々の名勝があるが、観光資源として活用する対策等を講じているのか。

答（町長）町としても文化財保護審査会委員の方々を中心に、現地調査をはじめ、色々な面から文化的価値を判断する作業を継続している。観光協会等と協議し、前向きに取り組みたい。

▲久賀地区　明治百年公園

広田清晴 議員

町民の願い！基地機能の強化ストップ!!

問 住民自治を充実する立場から、町政の重要事項について町民が直接判断できる、常設の住民投票条例の設置が必要と考える。

答（町長）住民参加の観点から考えると評価に値するが、住民どうしのしこり等が起こる事が懸念されるので、設置は考えていない。

問 岩国基地問題に対する町長の態度は、安全・騒音問題に不安を抱える町民の立場とは相入れない。基地問題に不安をいだく町民の気持ちを裏切った行為との認識はあるのか。

答（町長）閣議決定がされた以上、前に進む事が良いと考えた。安全、安心の町づくりから行った事で撤回は困難。民意を裏切ったと考えていない。

問 町長は閣議決定された事を理由に、現実的対応と態度変更を合理化しているが、沖縄普天間基地問題に見られる様に、住民、首長、議会が一緒の行動をすれば、例え国が閣議決定して地方に押し付けようとしても進まないのが実態。戦後の民主主義、町長の認識は。

答（町長）閣議決定後７年、国の提案の方向で進んでいない実態は承知している。

問 町長の態度は岩国市で行われた、住民投票、市長選挙で示された岩国市民の意思に対し水をぶっかけ、裏切る行為では。

答（町長）岩国市、周防大島町とも固有の自治体と考えるので、そのような認識はない。

意見 その他大島病院についてと、学校統合問題についての提言等を行った。

ここが聞きたい!!

5名が登壇

杉山藤雄 議員

問われる上下水道の運営!!

問 歳入不足を一般会計からの繰入金で対応しているが、説明を求める。

答（町長）簡易水道事業については、17年度決算で５億8,002万円、18年度計画が５億8,775万円である。公債費を差し引いた維持管理に要する繰入金の部分は、17年度決算で１億6,908万円、18年度計画で１億6,484万円となる。下水道事業についての繰入金を公債費を除いた部分で見ると、17年度決算が１億822万円、18年度計画が１億464万円である。農業集落排水事業では公債費を除いたものが、17年度決算が7,963万円、18年度計画で7,484万円である。農業集落排水事業では、17年度決算で1,059万円、18年度計画で1,138万円となっている。公債費のピークは簡易水道事業では18年度。下水道事業では、22年度。農業集落排水事業では24年度。漁業集落排水事業では18年度と見込んでいる。

▲日良居　浄化センター

問 これからの運営改善策を問う。

答（町長）維持管理費の節約に努めると共に、水道事業については、17年度に設置した給水単価検討協議会で、下水道事業については、今年度に下水道使用料検討協議会を設置し、適正使用料について検討する。

問 これからの下水道工事計画を問う。

答（部長）現在進行中の事業の完成を待って、町の生活排水処理基本計画に沿って進める。

尾元　武 議員

子供たちにとって最高の教育とは!!

問 ９月８日本会議終了後、全員協議会において中学校統合問題の中間報告がなされた。内容はこれ迄の経緯を踏まえて４校案を成案として理解を求める会と認識したが、議員の声は多岐にわたっていた。12月議会に提案予定と伺っているが今後どの様に進めていく予定か。また４校案に向けて改築事業費は16億6,700万円の概算（東和中改築費は仮設校舎含めて９億2,600万円）であるが、どう考えるか。

答（教育長）これ迄36回の説明会を行ってきた。現段階では住民感情、保護者の意志を尊重し、４校案で進めることが教育委員会のとるべき道と考える。現状の学校規模では４校案にもメリットがあることを理解頂きたい。また東和中校舎においては、耐震１次診断の結果、耐震補強が不可能な状態。財政状況は厳しい中ではあるが、将来の２校案も視野に入れての改築と考えている。

意見 保護者や地域の感情を尊重することが統合の可否を左右するとの判断は、やはり理解に苦しむ。目的はどこ迄も教育である。現段階で改築に踏み切り、近い将来であろう次の統合時には今以上に難しい総合問題になりかねない。単に問題先送りの様に思う。参考として柳井市は約900名の生徒を１校（案）へ。当町は390名である。焦ることなくより慎重に将来の方向を定めて、子供たちにとって最高の教育が受けられる様に推進して頂きたい。

一般質問

小田貞利 議員

東南海、南海地震の対応を問う 港の維持管理は？

問 本町では、東南海、南海地震防災対策推進地域の指定を受けているが、避難所や、要援護者への対応が不十分ではないか。

答 山口県総合防災訓練や防災セミナーを開催し、防災意識の向上に努めている。日ごろの防災対策を万全にすることで、被害を最小限に抑える事ができ、今後もなお一層防災対策について住民の皆さんに周知徹底を図りたい。要援護者に対する支援については、今後、「災害時要援護者の避難支援ガイドライン」を参考にして、社会福祉協議会等と協議をし、支援者等の育成を計り、要援護者対策に取り組んで行く。

問 本町では、多くの漁港、港湾があるが、その多くは川からの土砂や海流による砂で浅くなり船舶の停泊、航行に支障をきたしている。町は現状を認識し、対応を考えているのか。

▲港湾内に堆積する砂

答 船舶の停泊や航行に支障をきたすということで浚渫（しゅんせつ）の要望があった箇所については、堆積状況を確認し、予算の中で、他の補修工事等との緊急度も考慮しながら、対応する。港湾については県へ要望する。

問 年２ケ所程度の浚渫（しゅんせつ）では、おいつかない。砂利採取業者を利用し、予算をかけないで浚渫する方法はとれないか。

答 法的な問題もあるので、県と協議を進めてゆきたい。

委員会報告（平成17年度決算審査）

総務文教常任委員会

どうなる学校統合

委員長
土手正喜

９月11日、委員10名出席のもと、議案の本委員会所管事項全般にわたり、執行部より説明を求め、質疑を行い、十分なる審議の結果、全員賛成で認定すべきものと決定した。

主な審議事項は、教育委員会関係では、耐震強度診断での不適格校の対応について、どうするのかとの質問に、昭和56年以前の建物については、改築か耐震改修のいずれかを行う必要がある。国の方針は、改築より耐震補強工法でという方向性であるとの回答であった。文化を高める会の今後の方針については、18年度から本町で１本化し文化振興会を設立し、構成委員は旧町より各４名を予定しているとの答え。

消防費では、消防団員制度を将来的にどう考えているかの問に、総務省は消防団員を増やすよう進めている。婦人の消防団への入団にも力を入れている。本町に於いては972名の定員があり、女性消防団は現在数名いるが、今のところ定員の増加は考えていないとの答え。

税務課関係では、整理組合がなくなり、徴収率が下がるのではないか、との質疑があった。

総合支所関係では、各支所の維持管理費において、空調機器とビル管理の委託料が高額になっているが、軽減策を考えているかとの問いに、委託業者を全て調査し、軽減を各支所にお願いしているとの答え。

その他、町営駐車場及び、交通災害共済について等の質疑があった。

建設環境常任委員会

滞納者に法的措置を！

委員長
伊東梅芳

議案の所管事項全般にわたり、執行部から説明を求め、質疑を行ない、十分な審査の結果全員賛成で認定すべきものと決定した。
審議に当り主な質疑は以下のとおりです。

●上下水道課関係

問 水道料の未収額の現年分が多いが。
答 平成17年度は例年の３倍徴収したので滞納分については、減っている。納付された際、古いものから消し込みしていくので現年分は増えている。
問 下水道の料金収入3,500万円に対し、6,500万円の維持費がかかっているが。
答 収支改善のため、料金体制の見直しを今後行う。
問 下水道料金は、合併槽に比べ安価であり、下水道普及率は19％である。公平を保つため料金を調整検討すべきでは。
答 料金検討委員会を立ち上げ、検討する。

●生活衛生課関係

問 斎場の管理委託方法は
答 今後の委託方法は、建設中の斎場も合わせ、総合的に検討する。
問 2,800万円あまりの住宅料金滞納者の対応はどのように。
答 何ケ月か滞納したら退去を謳（うた）った法的措置を講じる要綱を作成し、今年度実効があるように公布した。

●農林課関係

問 有害鳥獣の捕獲状況は。
答 捕獲数は、全国トップレベル。タヌキは２千頭、イノシシは77頭を捕獲。イノシシについては、重点的に対策を実施中。

●水産課関係

問 椋野漁港の事業は終わっているが、今後の利用計画は。
答 組合を通して新しい漁港への移動を進めながら、利用を考えていく。

民生常任委員会

さらなる福祉の充実を！

委員長
安本貞敏

民生常任委員会は、福祉課、健康増進課、医療保険課、税務課、介護保険課、公営企業局の各部課長、及担当職員の詳細なる説明を求め質疑を行い、十分なる審議の結果、全件とも認定すべきものと決定した。主なものは次のとおりである。

○各保育所における備品購入・改修状況について
○敬老会事業に対する補助金の平等性について
○予防接種の補助の可否と自己負担率について
○各検診委託料とその財源内容について
○合併協議会での税率改正による軽減について及び国保税の不納欠損について
○介護保険料の徴収方法、不能欠損を行った事由、滞納した場合の扱いについて
○介護保険給付費の財源内訳（国、県、町で50％、残り50％被保険者保険料）が、決算書に於いて異なっている理由
○病院に対する交付税の交付割合ついて
○介護老人保険施設やすらぎ苑の、満床状態なのに、赤字の理由
○各病院の付属の健康管理センターの赤字の理由

その他企業局の職員定数、高利の企業債の対処等の質疑応答がされた。最後に大島病院の建替えについての詳細な資料の提供等の要望が為され、本委員会を閉じた。

議員研修・議員派遣及び活動報告予定

行事内容	日程	開催地	参加議員
近畿東和会	9月 24日	兵庫県	魚谷洋一議員
視察研修	9月26、27日	徳島県	民生常任委員
〃	9月27、28日	愛媛県	総務文教常任委員
県町議会議員研修会	10月 3日	山口市	全員参加
議会広報研修会	同上 午後	〃	広報委員
東京東和町人会	10月15、16日	東京都	土手正喜議員
近畿大島会	11月 12日	大阪市	木村 潔議員

陳情・要望文書関係の報告

内容の概要	提出者	備考
上関原発「建設反対請願書」	上関町民の会	継続審議
上関原発「促進の陳情書」	促進商工団体協議会	継続審議
河鶴橋掛替、周辺道路拡張・排水改善の早期実現	小平自治会	議員配布
「集配局の廃止再編計画に反対する意見書」に対する陳情	全国労働組合総連合	議員配布

柳井広域研修会より

行政視察 研修報告 7.18～19

建設環境常任委員会

熊本県山鹿市 R道の駅かほく『小栗郷』
〃 R『水辺プラザかもと』
熊本県熊本市 RJA熊本直販店『You＋You』
の３施設を訪問

地産地消の取り組みについて、従業員等に直接質問をして、生の声を聞いた。

R『道の駅かほく』では、地元でとれた野菜、果物、お茶、木工品、竹細工のほか、熊本の土産品を販売、営業は４月～９月まで、９時～19時まで営業。

生産者が氏名を表示。値段を各自で付ける事により、競争意識が高まり、より良い品物が出来、売上も1,000万を超える農家も出ている。

また生産者の顔が見える事により、消費者との信頼関係ができあがっていた。

R水辺プラザかもとは、温泉、食堂、農業体験、川遊び、サイクリング等、水辺に広い公園を持つ温泉複合施設であり、その中のふるさと物産館では、鹿本地域で採れた農産物、手作り田舎惣菜、メロンなど、ギフト商品も取り扱っていた。

健康、地球にやさしく、人にやさしい施設をテーマに運営されており、温泉があるため営業時間は長めの９時～21時まで。

RJA熊本直販店You＋Youは、野菜、肉、魚、果物、切花、花苗まで、地場産を中心に、県下全域の商品が揃えられていると共に、県内産の畜産物やジャム、ハム等の加工品も揃えられており、施設は大きくないが、品揃えの豊富さが印象的であった。

営業時間は、10時～19時。14の法人と個人生産者が出店していた。

編集後記

祝 長州８人目！

安倍内閣が発足された。地元では鯨のぼりを上げてのお祝いとか。戦後最年少で、史上５番目の若さ。群を抜く圧倒的強さで首相の座を射止められた。しかも議員歴はわずか13年との事。同じ長州人として誇りに思い、心よりお祝い申し上げさせて頂きたい。同時に地方再成に向けて大きく期待を寄せたいところである。この風をどう受け止めようか。山口県を舞台とする観光事業にも拍車がかかるだろう。逃すことなく安倍首相効果に、しっかり乗って行きたいものだ。

気になったのが、組閣にあたり、行革・道州制担当を配置された事だ。自主自立の地方社会へ向けて意識改革も遅れる事なくしっかり求められそうだ。

広報編集特別委員会

委員長 魚谷洋一
副委員長 平野秀和
委員 伊藤行生
〃 木村一武
〃 小田貞利

周防大島町ホームページ http：//www.town.suo-oshima.lg.jp
なお、各図書館へは議事録を備えています。

＊訂正＊

「こちら議会広報部」の前号（2006第６号）において、下記のとおり訂正箇所がありました。

３ページ：町政転流（３）の記事の中で
本文及び図表中の **ｄＢ区域**（誤） → **W値区域**（正） に改める

訂正してお詫びいたします。

※W値：環境基本法に基づく環境保全・人の健康保護のための望ましい航空機騒音に係る基準数値を示すものです。